

みんなで支える明日へのあんしん

にいかわ介護

vol. 25

2014.10

発行：新川地域介護保険組合

〒938-0036 富山県黒部市北新199 TEL(0765)57-3303 FAX(0765)57-3305

URL：http://www.niikawakaigo.jp E-mail：info@niikawakaigo.jp

サービスの質の向上をめざして



当組合では、4人の介護相談員が介護保険施設や事業所を訪問し、サービスに関する相談や要望をお伺いしています。

→介護相談員にお話をお聞きしました。
(詳しくは4ページで)

介護相談員とは…

利用者から介護サービスに関する不安や不満などを聞き、サービス提供者や行政へ橋渡しをして、問題の改善・解決に向けた手助けをします。

本紙の主な内容

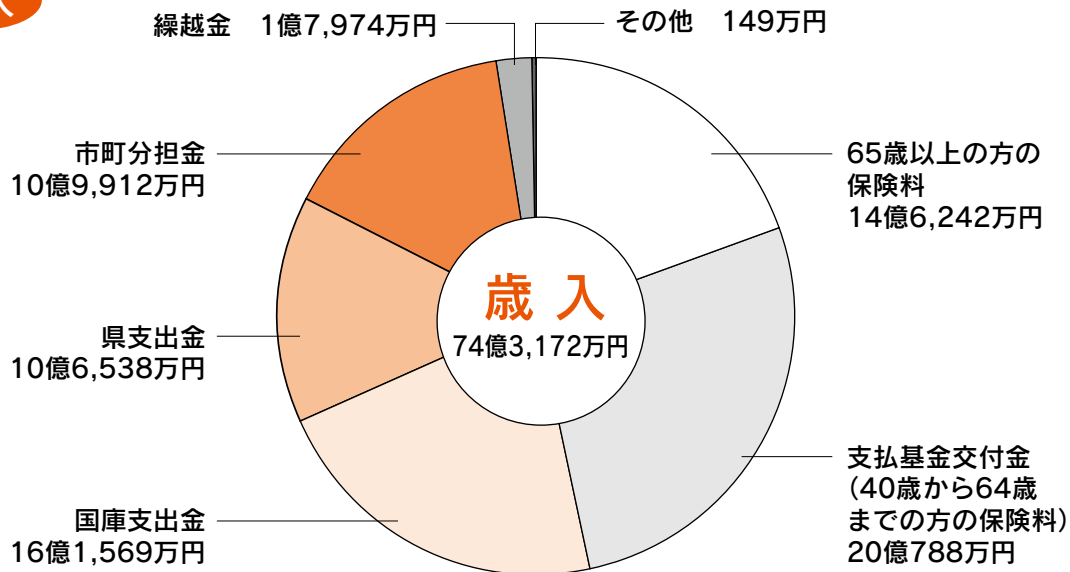
- ・新川地域介護保険組合の平成25年度決算について
- ・富山県在宅医療推進県民フォーラムの開催について
- ・介護相談員ヘインタビュー

平成25年度決算について

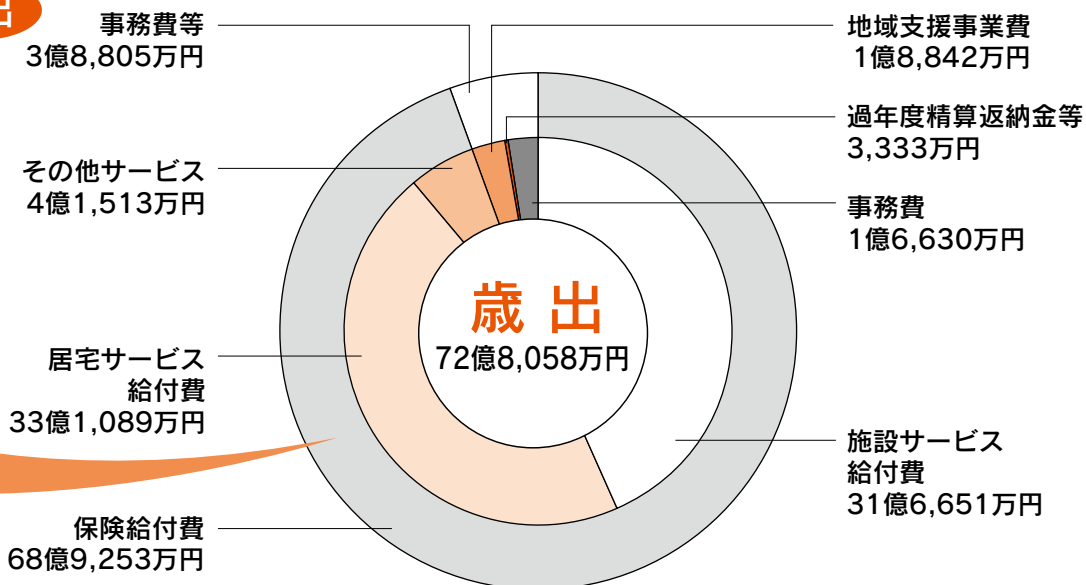
保険給付費は年間69億円

平成25年度 介護保険組合決算概要

歳入



歳出



平成25年度の組合決算についてその概要をお知らせいたします。
歳入総額は、74億3,172万円。それに対し、歳出総額は72億8,058万円で歳入歳出差引1億5,114万円となり、実質単年度収支では1,520万円の赤字決算となっております。

歳入

歳入決算額は74億3,172万円となり、対前年度比4.1%の増加となりました。この内訳は、65歳以上の方の保険料が、14億6,242万円（対前年度比3.0%増）、支払基金交付金が20億788万円（同2.8%増）、国庫支出金が16億1,569万円（同3.9%増）、県支出金が10億6,538万円（同0.1%増）、保険給付費と事務費に係る市町分担金が10億9,912万円（同7.3%増）、繰越金が1億7,974万円（同56.6%増）となりました。

保険給付費に係る負担割合は、保険料が21%、支払基金交付金が29%、国が25%、県と構成市町がそれぞれ12.5%となっています。

歳出

保険給付費の決算額は、68億9,253万円となり、歳出決算額の95%を占め、対前年度比4.4%の増加となりました。

この内訳は、居宅サービス給付費が、33億1,089万円（対前年度比6.6%増）、施設サービス給付費が、31億6,651万円（同1.7%増）、特定入所者介護サービス費が、2億8,740万円（同11.6%増）、高額介護サービス費が、1億1,568万円（同4.1%増）、審査支払手数料は、853万円（同2.7%減）となりました。

なお、地域支援事業費は1億8,842万円（同10.3%増）となりました。

また、介護サービスの月平均の利用者数は、居宅サービスが、2,686人（前年度と比べ118人、4.6%増）、施設サービスが、1,002人（同32人、3.3%増）となりました。

その他の支出は、保険給付費等の過年度精算返納金等、事務費です。

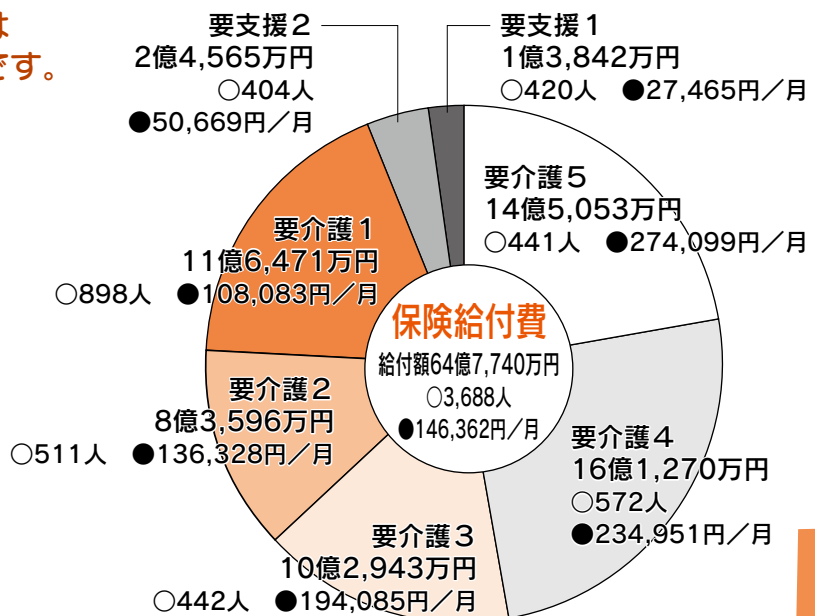
保険給付費の内訳〈介護度別〉

介護サービス費用のうち1割は利用者負担、9割は保険給付です。

保険給付費は、みなさんが納めた保険料と税金などから賄われています。

（○利用人数
●1人あたりの平均給付額）

※給付額の合計は、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、審査支払手数料を除いて算出したため、歳出欄の保険給付費68億9,253万円と一致しません。



お知らせ

平成26年度 富山県在宅医療推進県民フォーラム
「在宅医療という選択」～あなたと家族と地域と共に～

日 時：平成26年10月12日(日)

会 場：ボルファートとやま

14：00～17：00（開場13：30）

富山市奥田新町8-1

入場無料（定員350名 ＊事前申込要）

申し込みは、北日本放送 在宅医療推進県民フォーラム係（TEL 076-432-5555）まで

住み慣れた自宅や地域で安心して暮らすことができるように、在宅医療や介護のあり方について考えてみませんか。

介護相談員インタビュー

【質問内容】

- ①施設訪問の際に気を付けていることは？
- ②介護相談を通じて、うれしかったこと・心に残ったことは？
- ③今後の抱負をお願いします。

久田 英子さん（黒部市担当）



- ①利用者の立場にたって、あいさつを交わしてから、話をしてよいか伺ってから話すこと。インフルエンザやノロウイルス等の感染予防対策。
- ②利用者との話ができるかと思案することもあります。施設側の受け入れ態勢がよく、利用者への話しかけに気負いがなく、穏やかに話ができます。「こんにちは」の呼びかけに、語感で話が通じる時の喜びと利用者の優しい笑顔は、利用者からの最大の贈り物であり、逢えてよかったと思う瞬間です。
- ③利用者は人生の大先輩。思いやりを持って続けることができれば大変うれしいです。

高本まさ子さん（黒部市担当）



- ①利用者の方には、人生の大先輩として尊敬の念を払い、心を開いていただけるように笑顔で話しかけ、傾聴するようにしています。また、職員の思いも聞かせてもらっています。
- ②ベッド上で無表情の方に話しかけた際、会話は無理かと思われましたが、ぱっと表情が明るくなり、「ありがとう」「ごころさま」「また来てね」と手を握られました。短い会話の中に生きる力と温もりを感じ、勇気づけられました。
- ③住み慣れた地域で安心してサービスが利用でき、介護保険制度が有効に継続されることを願い、私たちにできることは何か、問いかけながら訪問したいと思います。

伊林みつ子さん（入善町・朝日町担当）



- ①できる限り利用者さんの名前前で呼びかけたり、様子を見ながら話しかけるタイミングを見極めること。事業所のスタッフへの声掛けも忘れないこと。「こんにちは」の一声でも多くの利用者さんへ声掛けすること。
- ②利用者さんは高齢の方や認知症を患っておられる方が多いです。最初は、会話ができるのだろうかかと心配でしたが、多くの方と会話ができるようになり、会話中に目が輝いたり、笑顔が出たりするととてもうれしくなります。気遣いの言葉や感謝の言葉が出ることに驚くと同時に、話し相手の必要性がもっと表面に出てほしいと思います。帰りに「また来られ。気をつけて帰られ」「今度来るとき弁当持ってきてこれ。一緒に食べよう」など、気遣いや温かい一声が心に残ります。
- ③一人でも多くの利用者さんと話をすること。自分自身を含めて、健康寿命を一日でも先延ばしにするよう身近な人や友達との交流を勧め、話をすることなど声出しの大切さを伝えたいと思います。私たちの活動が、将来自分もお世話になるだろう施設の環境改善、事業所や働くスタッフの利用者さんへの意識向上へつながっていくことを願いながら訪問を続けたいと思います。

島端恵津子さん（入善町・朝日町担当）



- ①「施設への第一歩は笑顔を届けること」これを基本とし、前回の訪問と重ねながら、ひとりでも多くの利用者さんに接し、エールをと心がけています。さらに、職員さんの労をねぎらいつつ、サービスの現状把握に努めています。
- ②皆さんと会話することで親近感がわき、逆に元気をもらいます。利用者さんは人生の大先輩で、私にとって懐かしい再会であったり、新しい出会いであったりします。わずかな時間の共有が一回一回心に残り、うれしく感じます。
- ③介護度はさまざまですが、声をかけると皆さん笑顔が生まれます。一瞬でも孤独感の解消、精神的なサポートになれば幸いです。利用者とサービス提供者、住民と行政の橋渡しとして微力ながら役割を担っていきたいと思います。

どんなことでも
気軽に声をかけてください



組合管内の人口

全人口	81,586人
65歳以上人口	25,530人
要支援・ 要介護認定者数	4,576人

(平成26年8月末現在)

